



●市内の出来事や、頑張っている皆さんの姿を紹介するコーナーです。



●11月24日 佐渡のブリカツ
おいしいー。大関小学校

コロナ禍で消費が落ち込む新潟の食材を県が無償提供。佐渡市産ブリを使ったブリカツをいただきました。栄養満点のお魚で冬を元気に乗り越えよう！



●11月13日 R116号吉田バイパス
測量作業を実施 吉田鴻巣地内他

「国道116号吉田バイパス」の測量作業が開始となり、今後の道路設計に必要な地形データを得るため、ドローンを使用してのレーザー測量が行われました。



●12月6日 燕市が生んだ
偉人の画業を学ぶ 燕市産業史料館

横山操生誕100周年記念展にあわせ、美術評論家の横山秀樹さんによる講演会を開催。戦後の日本画壇で輝きを放った操さんの生涯に思いを馳せました。



●11月16日 つばめ輝く
女性表彰を開催 燕市役所

すべての女性の活躍推進を目的に、モデルとなる個人や事業所・団体を表彰しています。今年度は手話通訳士の松田さん、桜井の里福社会が受賞されました。



●12月5日・12日 今後を担う
リーダーへの第一歩！ 吉田産業会館

市内中学1・2年生を対象に「燕キャプテンミーティング」を開催。生徒会や部活動で求められるリーダーとしての心構えを学ぼうと講師の話に耳を傾けていました。



●11月18日 ごはんに合うおかずで
学生を応援 燕新越ワークス

コロナ禍においても親元を離れて頑張っている大学生などに応援物資を届けています。物資の提供と発送作業は有志の皆さんからご協力いただきました。



●12月12日 手話を使って
絵本の読み聞かせ 中央公民館

図書館の読み聞かせボランティアや手話に興味がある人など16人が参加。かんたんな手話を使った絵本の読み聞かせを学び、手話と絵本に親しむ時間となりました。



●11月19日 おもてなし
国上山 国上山

分水北小4年生が観光ガイドに挑戦しました。つばめっ子かるたを使って国上山の自然・史跡・伝説などをていねいに説明。手書きのマップも配布しました。

知っていれば得た気分になれる。そんな話題を集めたコーナーです。

Cooking

野菜いただきます！



燕市食生活改善推進委員
保健センター ☎0256-93-5461

ほうれん草の卵とじ



- ほうれん草 … 400g
- 人参 … 15g
- 卵 … 2個
- めんつゆ … 大さじ1~2

- ほうれん草は茹でて2cm幅、人参は細切りにする
- フライパンに人参とひたひたの水を入れて煮る
- めんつゆとほうれん草を入れ、溶き卵を流してふたをし、火を止める

いただきます！



長谷川琥珀ちゃん

体温を上げる必要のある冬は、基礎代謝が高まってダイエットに最適。3食をしっかりとって間食は減らし、家の中でもこまめに体を動かしましょう。

毎月19日は食育の日。つばめ食育だよりを配信しています。最新号はこちら！▶▶▶▶



ごみの量(令和2年11月)

粗大・資源ごみの量が前年に比べ増加しています。引き続きごみの削減・分別にご協力をお願いします。

ごみの種類	令和2年11月		令和元年11月		比較増減
	収集量	1人1日	収集量	1人1日	
可燃	1,201 t	509 g	1,218 t	512 g	- 3 g ↓
不燃	72 t	30 g	78 t	33 g	- 3 g ↓
粗大	55 t	23 g	39 t	16 g	7 g ↑
資源	225 t	95 g	210 t	88 g	7 g ↑
合計	1,553 t	657 g	1,545 t	649 g	8 g ↑

生活環境課 環境政策係 ☎0256-77-8167

Culture

●今月一品

ながめまよしすけ どうこうろう
長沼良祐「銅香炉」

燕市産業史料館 ☎0256-63-7666
(月曜日および祝日の翌日休館)

■入館料 大人400円 小・中学生、高校生以下100円



これは長沼良祐さん(1993-2020)によって1985年に制作された香炉です。長沼さんは玉川堂出身の鋳起銅器職人で、長年にわたって地場産業に関わり、技術研鑽に励んだ結果、1995年に黄綬褒章を受章しています。

この作品の黒色は、硫化カリウム水溶液で煮込むことで着色されています。胴に粒状の金色の模様がありますが、これは「ちらし金」という技法によるものです。錫の粉をまき、その部分を火で焼いた後、金鍍で叩いて

密着させることで、模様ができあがります。この「ちらし金」が施された箇所には、タガネで彫ったような無数の細長い模様があります。これは刃鋳目と呼ばれています。通常の金鍍は叩く面が丸いですが、ここでは面が細長い金鍍を使って鋳目を入れます。

産業史料館の本館2階には、燕の職人によって制作された鋳起銅器や煙管、彫金作品などが展示されています。ぜひ燕の職人のわざの数々をお楽しみください。

地域まちづくり協力隊の奮闘日記 vol.34

2020年、オンラインで出会った東京つばめいとメンバーの皆さんへ。オンラインでのランチやまちあるき、いかがでしたか。数年前、千葉県の大塚に通っていたころ、私も東京つばめいとメンバーでした。そこでの出会いがきっかけとなり、現在燕市で仕事をしています。次は私が皆さんの未来を応援する番です。困ったことがあったら一緒に考えて、楽しいことがあったら一緒に共有したい。東京つばめいと、皆さんにとっていつでも気軽に相談や連絡ができる存在でいたいと思っています。

東京つばめいとで出会ったみんな、いつもありがとう。今年はオンラインと併せて、メンバー同士が直接会える機会を企画していきます。

東京つばめいとに
ついてはこちら▶

ふるさとからの
ムービーレター「VOICE」

燕市地域おこし協力隊
坂内 未央